

60 代女性

●主訴

耳鳴り

約 3 年前から左耳に低音の耳鳴りを感じ始めた。来院の約 1 ヶ月前より右耳にもジージーという金属音のような耳鳴りを感じ鍼灸治療を求めてきた。

既往歴は特になし。

●症状所見

左耳の耳鳴りが始まった当初は暫く鍼灸治療を受けていたが、症状が軽減するも完全には鳴り止まず、そのうちに治療を止めてしまっていた。普段はウォーキングなどなるべく運動をするよう心がけているが、数ヶ月前に胸部を痛めて 1 月半ほど運動も控えていたら右耳の耳鳴りが始まってしまった。右は起床時から音を感じるが昼を過ぎると少し治まっていく。ただ、夜間に鳴り始めると気になって眠れなくなる。

左耳は常時ボーッという低音が続いている。

●治療の内容と経過

1 診；足がいつも冷えており、顔は火照りやすい。舌や脈状から腎陽虚及び肝気鬱滞を考え手足と背部のツボ(主に少陰経・厥陰経)に接触鍼(皮膚上に鍼を貼り付ける方法、)と脚のツボに施灸した。また、後頸部と肩に刺鍼し肩周りの緊張を緩和した。

2 診；7 日後に来院。治療後 2 日は右耳の音は治まっていた。またこの 1 週間、夜間は耳鳴りが起こらなかったためよく眠れるようになった。

1 診同様、手足と背部のツボに接触鍼を行い、脚のツボに施灸した。頸肩には刺鍼した。

4 診；1 週間毎に来院。2 日ほど右耳の音が鳴る日もあったが夕方から夜間は鳴らなくなった。左耳の音も気にならない時間が出てきた。また精神的に安定してきた気がするとのことだった。治療は前回までと同様に手足・背部に接触鍼をし、背部のツボにも施灸した。

6 診；前回施術から 2 週後に来院。施術 1 週間は右耳の音は鳴らなかった。左は起床時と夜間静かなときに少し気になる程度に軽減した。

治療内容は前回同様で、背部への施灸を増やした。

8 診；前回から 10 日後に来院。右耳の耳鳴りは殆ど感じなかった。左耳は静かなときに少し気になる程度で、起床時に音がしていても午後には治まる程度。治療内容は前回同様。

●まとめ

初回来院時にお話を伺うと、約 3 年前に特別なきっかけもなく耳鳴りが始まったとのことでしたが、その当時の生活習慣やストレスなどが引き金になった事が考えられました。日常的に運動は心がけていたものの、来院数ヶ月前に一時的に運動をしなくなったことで、耳鳴りがひどくなり、そのため精神的にもイライラすることが増え、鍼灸治療を求めて来られました。問診所見での舌や脈状、手足末梢の冷えや顔の火照り、そのほか右耳の耳鳴りが始まる時の様子などから腎陽虚と肝鬱気滞を考えました。素体としての陽虚をベースに気の巡りも悪くなり、加えて日常のストレスなどから耳鳴りとして症状が発現したと考えられます。そこで全身の気の巡りを整えることと腎陽を補うことに主眼をおいて治療を進めました。全身の循環が改善されてきた結果、耳の症状は軽減し、睡眠状態も改善し、精神的にも落ち着いてこられたようです。

今後は左耳の耳鳴りのさらなる低減と、体調を安定させる事を目的に、治療間隔を延ばしながらを継続していく予定です。